

各位

上場会社名 株式会社 ポラテクノ  
 代表者 代表取締役社長 福島 良昭  
 (コード番号 4239)  
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 安藤 誠  
 (TEL 0255-78-4700)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,236	1,561	1,357	551	2,023.87
今回発表予想(B)	11,236	1,561	1,248	270	991.73
増減額(B-A)	0	0	△109	△281	――
増減率(%)	0.0	0.0	△8.0	△51.0	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	11,305	1,329	981	481	1,767.09

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,132	2,186	1,496	570	2,093.66
今回発表予想(B)	23,668	3,142	2,825	1,073	3,941.23
増減額(B-A)	536	956	1,329	503	――
増減率(%)	2.3	43.7	88.8	88.2	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	21,963	2,078	1,460	620	2,279.30

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,810	785	1,226	657	2,413.22
今回発表予想(B)	9,810	785	1,073	△694	△2,549.12
増減額(B-A)	0	0	△153	△1,351	――
増減率(%)	0.0	0.0	△12.5	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	9,611	969	1,599	1,157	4,250.40

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,614	1,307	1,550	880	3,232.32
今回発表予想(B)	20,455	1,114	1,440	△481	△1,766.75
増減額(B-A)	△159	△193	△110	△1,361	――
増減率(%)	△0.8	△14.8	△7.1	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	19,134	1,545	1,816	1,233	4,530.97

## 修正の理由

(個別)

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、売上高及び営業利益は前回予想通りと見込んでおります。営業外損益に関しましては、最近の為替相場の動向を踏まえ、前回(平成20年8月11日)発表予想の際の評価レート1米ドル=106.42円、1ユーロ=168.07円を1米ドル=105円、1ユーロ=150円に見直し、為替差益を縮小いたしました。また、特別損益に関しましては、本日発表いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、台湾の持分法適用関連会社である晶威光電(股)有限公司に関わる投資有価証券評価損2,028百万円を計上いたします。

通期の売上高に関しましては、車載用LCD向け偏光フィルムの販売が依然好調であり、また無機偏光板ProFluxのフロントプロジェクターへの用途転換も順調に推移しておりますが、ProFlux以外のプロジェクタ部材の販売は減少しており、売上高としては微減となる見込みです。売上原価に関しましては、加工費の節減が進んでおりますが、前回予想と比べ光学部材の歩留まり悪化と棚卸資産の評価損が増加する見通しです。販売費及び一般管理費に関しましては、大きな変動はなく、通期の営業利益は前回予想を下回る見込みです。

この結果、通期の当期純利益は前回予想に比べ、1,361百万円減の当期純損失481百万円となる見込みです。

(連結)

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、最近の為替相場の動向を踏まえた営業外損益の見直しと、持分法適用関連会社である晶威光電(股)有限公司に関わる特別損失824百万円の計上を行いました。売上高及び営業利益は前回予想通りと見込んでおります。

通期の売上高に関しましては、前回予想をやや上回る見込みです。米国子会社のモクステック, Inc.ではX線分析装置部材の販売が好調に推移いたします。あわせて、個別業績での記載にあるように、無機偏光板ProFluxの販売も増加しております。また、オランダ子会社のデジマテック B.V.では新工場の一部が稼働し、特殊位相差フィルムTwistarの生産・販売の増加を見込み、中国子会社の無錫宝来光学科技有限公司でもプロジェクタ部材の販売の拡大を見込んでおります。

利益面では、上記のモクステック, Inc.において、歩留まりの向上と生産量の増大により売上原価率が低下し、営業利益が大きく拡大し、通期の連結営業利益は大幅に増加する見込みです。

経常利益においては、前回予想において第3四半期累計期間以後に見込んでいた晶威光電(股)有限公司に関わる持分法損失が、今回の投資有価証券の評価損により発生しないこととなったため、営業外費用が減少します。

この結果、通期の当期純利益は前回予想に比べ503百万円増の1,073百万円となる見込みです。

以上